

## ⑨ 地域別の人口推計

ここまでみてきたとおり、香美市内の3地域はそれぞれに人口移動の状況や年齢構成が異なります。

時代にあった地域をつくり、地域と地域を連携して香美市全体のまちづくりを推進していくためには、現在の状況から予測される各地域の将来人口などを推計する必要があると考え、以下のような独自の設定・方法により算定を行いました。手法としてはコーホート要因法に基づく人口推計に準じたものとなります。

**【2010年と2015年の各地域人口】**=2010年と2015年の各地域(土佐山田町・香北町・物部町)の人口の実績は、住民基本台帳の人口移動調査(4月1日基準)によるものです。

**【合計特殊出生率】**=本推計では2010年までの数値は近似値で、香美市の子ども女性比に、換算率(国の人口推計ツールで示された2015年の子ども女性比から合計特殊出生率への換算率7.19476)を乗じたものを採用しています。

市の過去実績に則ったものとなりますが、他の推計や発表と異なる場合があります。

設定値は3地域共通となり、地域ごとの合計特殊出生率は算定していません。

**【生残率】**=社人研の仮定値によるものを採用しています。

**【純社会移動率】**=まず、平成22年の各地区の年齢層別・性別の基準人口(人口移動調査3月31日現在)に、社人研仮定値の生残率を乗じて当該地域の封鎖人口(社会移動が0とした場合の人口)を算出します。

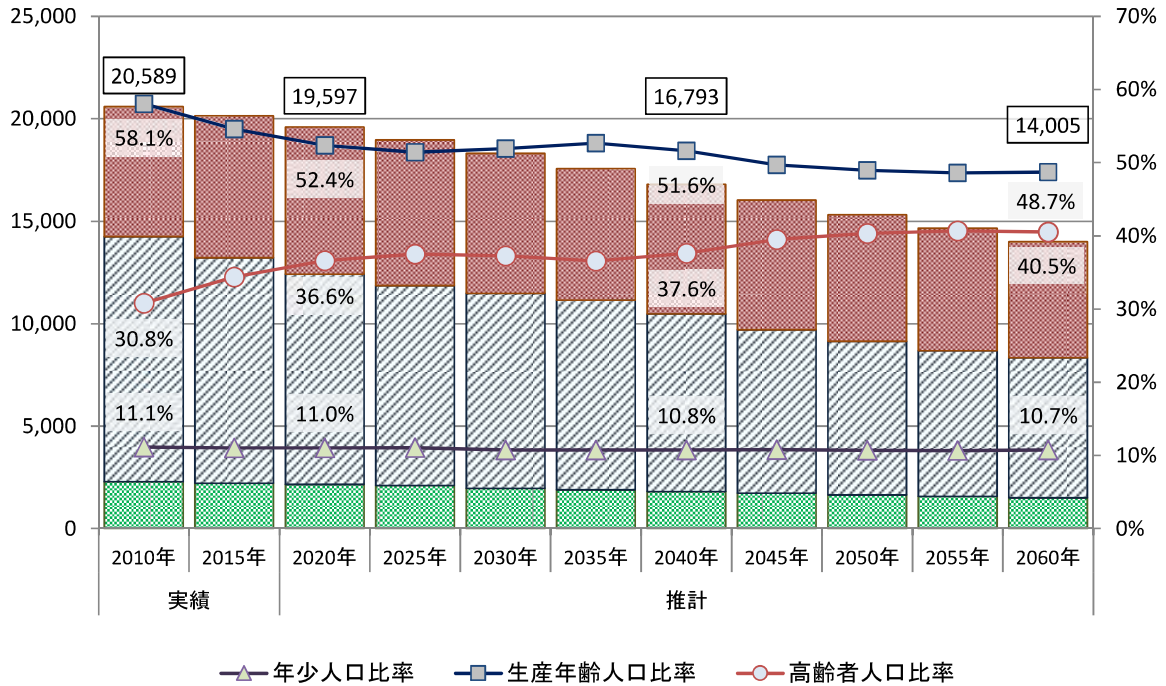
封鎖人口と平成27年の各地域の人口を照らしあわせることで、当該地区の純社会移動率を仮定的に算出し推計に反映させています。

以上から、年齢・性別ごとの人口については各地域の現状を基本とし、出生の状況は香美市全体の傾向を反映、加えて平成22年～27年の各地域の人口移動の傾向を反映した予測となっています。

そのため、3地域の推計値の合計は、第3章で示す市全体の推計と等しいものとはなりません。また、あくまでも、現在までの傾向が将来も変わらず推移した場合という仮定に基づく推計の一つであるという前提でみていく必要があります。

土佐山田町は、3地域で最も生産年齢人口比率が高く、高齢者人口比率が低くなっています。また、年少人口比率も極端な下降傾向にはありません。

◆ 土佐山田町の人口及び年齢3区分別人口比率推計

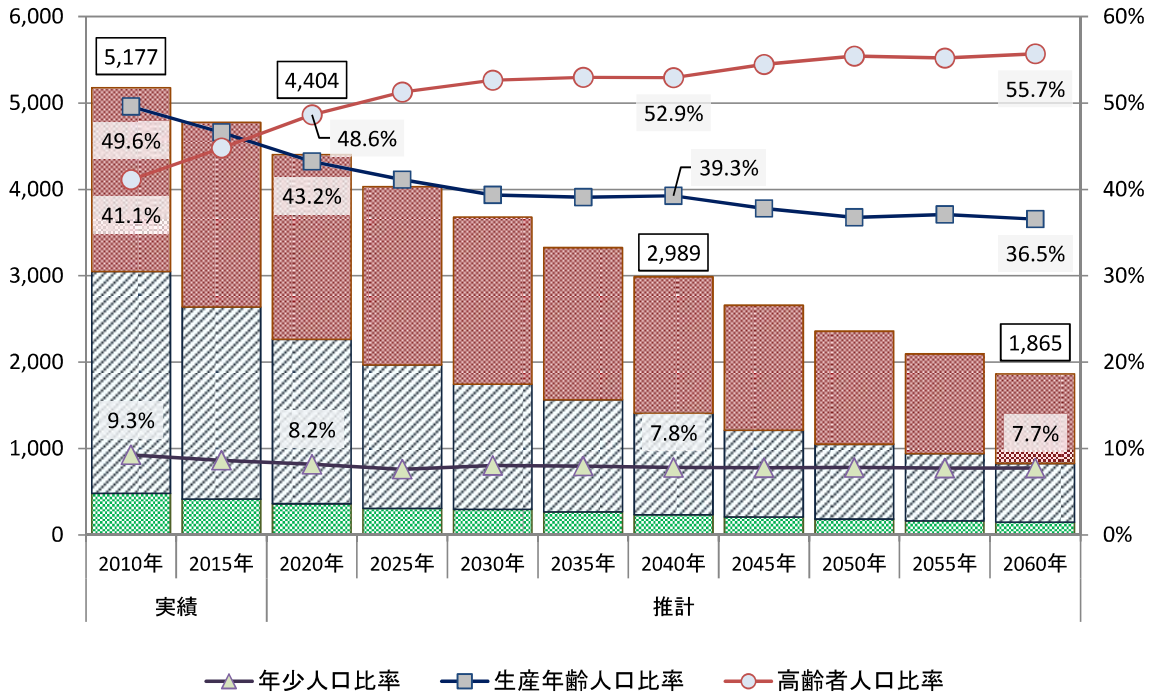


◆ 推計結果

		総人口 (人)	年少人口 (人)	生産年齢人口 (人)	高齢者人口 (人)	年少人口比率 (%)	生産年齢人口比率 (%)	高齢者人口比率 (%)	合計特殊出生率
実績	2010年	20,589	2,294	11,953	6,342	11.1%	58.1%	30.8%	1.36
	2015年	20,148	2,221	11,001	6,926	11.0%	54.6%	34.4%	1.40
推計	2020年	19,597	2,159	10,264	7,175	11.0%	52.4%	36.6%	1.42
	2025年	18,975	2,099	9,760	7,116	11.1%	51.4%	37.5%	1.44
	2030年	18,307	1,971	9,509	6,827	10.8%	51.9%	37.3%	1.45
	2035年	17,572	1,890	9,255	6,427	10.8%	52.7%	36.6%	1.47
	2040年	16,793	1,806	8,668	6,318	10.8%	51.6%	37.6%	1.48
	2045年	16,029	1,729	7,968	6,332	10.8%	49.7%	39.5%	1.49
	2050年	15,317	1,644	7,497	6,176	10.7%	48.9%	40.3%	1.51
	2055年	14,653	1,567	7,122	5,964	10.7%	48.6%	40.7%	1.52
	2060年	14,005	1,505	6,825	5,675	10.7%	48.7%	40.5%	1.53

香北町は、年少人口比率は大きく下がることがないと予測されます。しかし高齢者人口比率は少しずつ上がり、生産年齢人口比率は少しずつ下がる予測となっています。

◆ 香北町の人口及び年齢3区分別人口比率推計

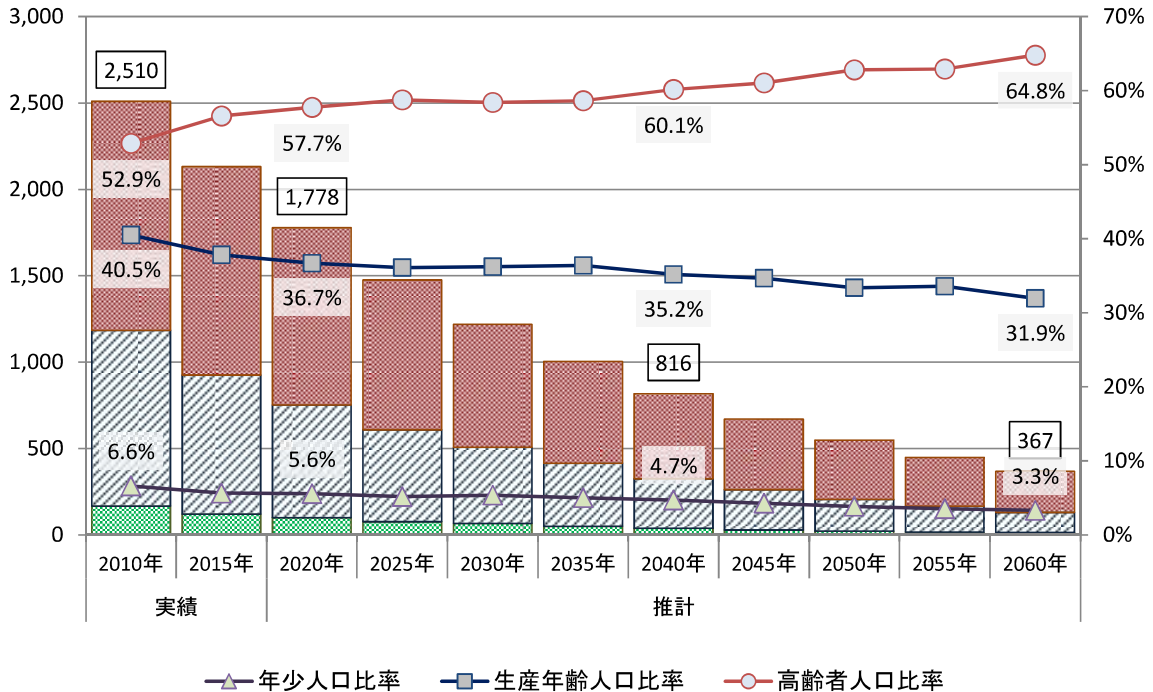


◆ 推計結果

	年	総人口 (人)	年少人口 (人)	生産年齢人口 (人)	高齢者人口 (人)	年少人口比率 (%)	生産年齢人口比率 (%)	高齢者人口比率 (%)	合計特殊出生率
実績	2010年	5,177	480	2,568	2,129	9.3%	49.6%	41.1%	1.36
	2015年	4,776	412	2,225	2,139	8.6%	46.6%	44.8%	1.40
推計	2020年	4,404	360	1,903	2,141	8.2%	43.2%	48.6%	1.42
	2025年	4,033	307	1,659	2,067	7.6%	41.1%	51.3%	1.44
	2030年	3,679	295	1,448	1,936	8.0%	39.3%	52.6%	1.45
	2035年	3,326	265	1,300	1,761	8.0%	39.1%	53.0%	1.47
	2040年	2,989	233	1,173	1,582	7.8%	39.3%	52.9%	1.48
	2045年	2,659	206	1,005	1,448	7.8%	37.8%	54.5%	1.49
	2050年	2,356	184	866	1,306	7.8%	36.8%	55.4%	1.51
	2055年	2,095	162	777	1,156	7.7%	37.1%	55.2%	1.52
	2060年	1,865	144	681	1,039	7.7%	36.5%	55.7%	1.53

物部町は、現状で高齢者人口比率が生産年齢人口比率を超えています。今後もその差が徐々に広がっていくと予測されています。年少人口比率も下降の見込みです。

◆ 物部町の人口及び年齢3区分別人口比率推計



◆ 推計結果

	年	総人口 (人)	年少人口 (人)	生産年齢人口 (人)	高齢者人口 (人)	年少人口比率 (%)	生産年齢人口比率 (%)	高齢者人口比率 (%)	合計特殊出生率
実績	2010年	2,510	166	1,017	1,327	6.6%	40.5%	52.9%	1.36
	2015年	2,132	120	806	1,206	5.6%	37.8%	56.6%	1.40
推計	2020年	1,778	99	652	1,026	5.6%	36.7%	57.7%	1.42
	2025年	1,475	76	533	867	5.2%	36.1%	58.7%	1.44
	2030年	1,219	65	441	712	5.4%	36.2%	58.4%	1.45
	2035年	1,004	50	365	589	5.0%	36.4%	58.6%	1.47
	2040年	816	38	287	491	4.7%	35.2%	60.1%	1.48
	2045年	670	28	232	409	4.3%	34.7%	61.1%	1.49
	2050年	547	21	183	344	3.8%	33.4%	62.8%	1.51
	2055年	448	16	150	282	3.5%	33.6%	62.9%	1.52
	2060年	367	12	117	238	3.3%	31.9%	64.8%	1.53